

エコアクション21 環境経営活動レポート



活動期間 2021年3月～2022年2月



発行日 2022年5月27日
改定日 2022年10月21日



丸善エコアース株式会社

TEL 0299-57-0530 FAX0299-57-0092

E-mail:maruzen5383@river.ocn.ne.jp

URL: <http://www.maruzen5383.com>

〈 目 次 〉

1. 環境方針	3
2. 組織の概要	4～5
3. 許可内容等	6～7
4. 一般廃棄物処理フロー	8
5. 環境目標と実績	9
6. 中長期目標	10
7. 環境活動計画・実績、評価及び次年度の取り組み	11～14
8. 環境関連法規等の遵守状況及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無	15
9. 代表者による全体の評価と見直し	16



1.環境経営方針

【経営理念】

当社は、社会に役立ち、人々の環境や暮らしを豊かにし、循環型社会形成、地域環境の保全に貢献することを目指し、環境保全活動に取り組みます。

エコアクション21ガイドラインに準拠した環境マネジメントシステムを構築し、地域、業界、顧客の環境関連要求事項に配慮し、環境活動の継続的な改善を図ります。

経営の中で、環境への取組を利用し、経営における課題とチャンスを意識した環境経営を行い全従業員と一体となり継続的に進化、成長する組織を目指す。

基本方針

1. 地球温暖化防止のために、節電・節水・エコドライブによる省エネ・省資源を推進し、低炭素社会の実現に貢献する。
2. 環境経営レポートを公開し、信頼と協調を図る。
3. 廃棄物の再資源化に取り組み、循環型社会の形成に貢献する。
4. 地域貢献活動に積極的に取り組み、社会とのコミュニケーション向上に努める。
5. 環境関連の法規、条例等の規則を遵守し、適正な業務を遂行する。



制定日 2019年7月31日



丸善エコアース株式会社
代表取締役 今泉善弥

2. 組織の概要

1. 事業者名及び代表者

事業所名	丸善エコアース株式会社
代表者名	今泉善弥

2. 所在地

本社	〒311-3507 茨城県行方市羽生673-2
羽生営業所	〒311-3507 茨城県行方市羽生621-1
リサイクル工場兼 芹沢営業所	〒311-3501 茨城県行方市芹沢1591-48

3. 環境管理責任者及び連絡先

責任者	今泉裕太
連絡先	0299-57-0530
FAX	0299-57-0092
メールアドレス	maruzen5383@river.ocn.ne.jp
メールアドレス	maruzeneco5383@kind.ocn.ne.jp
URL	http://www.maruzen5383.com

4. 事業内容

一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業、再生資源回収業・一般貨物運送業

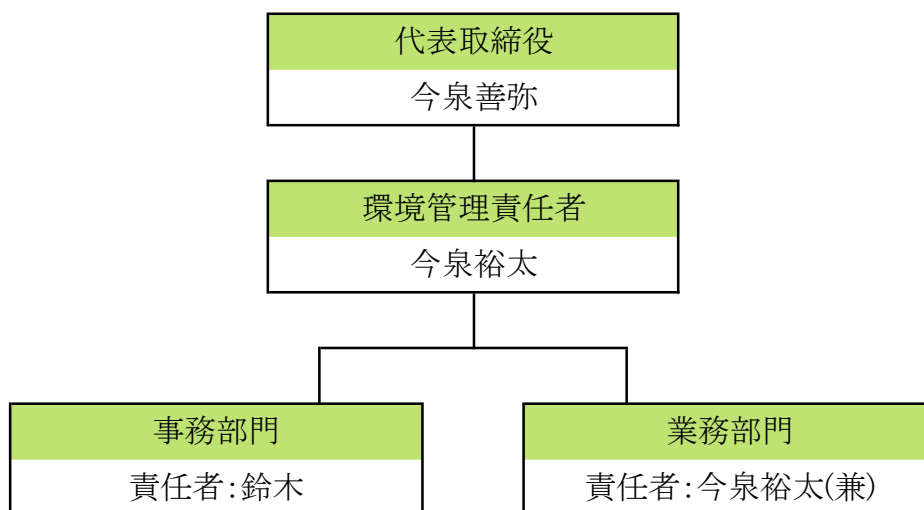
5. 事業規模

法人設立年月日	: 2003年3月25日
資本金	: 300万円
売上高	: 17,000万円(2021年3月～2022年2月)
従業員数	: 15名
事業所延べ面積	: 2207.24㎡



更新日:2022年3月1日

6. 実施体制図



7. 認証・登録範囲

全社(除外部門なし)

責任者	責任及び権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する総括責任 環境経営システムの実施(設備・費用等) 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・計画を承認 代表者による全体の評価と見直し 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築・実施及び管理 環境関連法規の取りまとめ表を承認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取組を認識し、自主的に環境活動へ参加
事務部門	<ul style="list-style-type: none"> 環境レポートの作成 環境への負荷の自己チェック表及び取組の自己チェック表の実施 環境目標・活動実績の集計及びデータ管理・報告

更新日:2022年3月1日

3. 許可内容

1. 許可の内容

(1) 一般廃棄物処理許可証

許可市町村	事業区分	許可年月日	有効年月日
行方市 (29行環指令第17-1号)	委託 家庭ごみ収集運搬 事業系ゴミ 収集運搬	2021年3月25日	2023年3月31日
銚田市 (銚田市指令第11号)	事業系収集運搬	2022年4月1日	2024年3月31日
かすみがうら市 (第77号)	事業系収集運搬	2022年3月29日	2024年3月31日
小美玉市 (小美玉環境指令第7号)	事業系収集運搬	2022年2月9日	2024年3月31日
鹿嶋市 (鹿廃対指令第49号)	事業系収集運搬	2022年3月28日	2024年3月31日
茨城町 (町指令第25号)	事業系収集運搬	2022年2月5日	2024年2月4日

(2) 産業廃棄物収集運搬業許可

許可番号	産業廃棄物の種類	許可年月日	有効年月日
茨城県 第00801119390号	廃プラスチック類(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除き、水銀使用製品産業廃棄物を含む)、金属くず(自動車等破砕物を除き、水銀使用製品産業廃棄物を含む)、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除き、水銀使用製品産業廃棄物を含む)紙くず、木くず、動植物性残さ、がれき類(石綿含有産業廃棄物を除く)、汚泥(水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く)	2020年12月7日	2025年7月20日
千葉県 第01200119390号	汚泥、廃プラスチック類、木くず、動植物性残さ(これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	2018年11月27日	2023年11月26日

(3) 事業計画の概要

許可区域内での事業系一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬事業を通じて適正な処理処分を促し、循環型社会への貢献、資源の有効利用の促進、地球温暖化の防止を図る。

2. 保有車両

車両名	最大積載量	台数	合計
脱着装置付コンテナ専用車(アームロール)	6200	1	16台
脱着装置付コンテナ専用車(アームロール)	3900	1	
キャブオーバー(ユニック)	2600	1	
バン(箱車)	2000	1	
塵芥車(パッカー車)	3300	1	
塵芥車(パッカー車)	3250	3	
塵芥車(パッカー車)	3100	1	
塵芥車(パッカー車)	2900	2	
塵芥車(パッカー車)	2800	2	
塵芥車(パッカー車)	2750	1	
塵芥車(パッカー車)	2200	1	
塵芥車(パッカー車)	2550	1	
リフト1.5t		1	1台



年間収集運搬量(t)

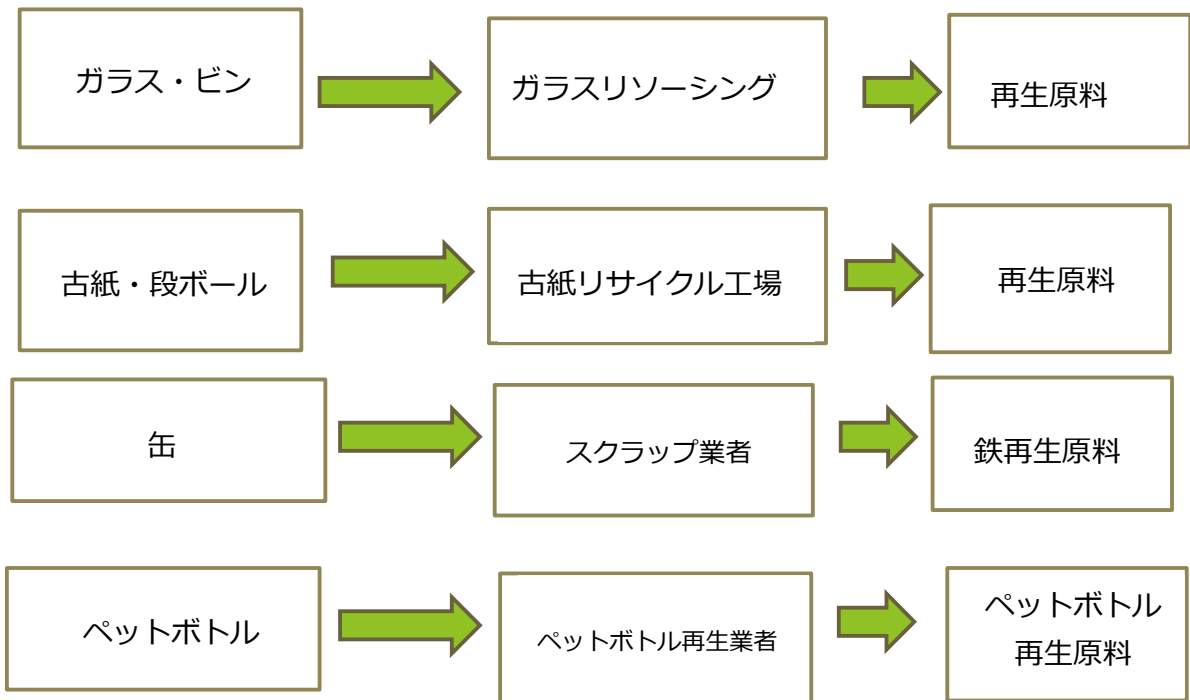
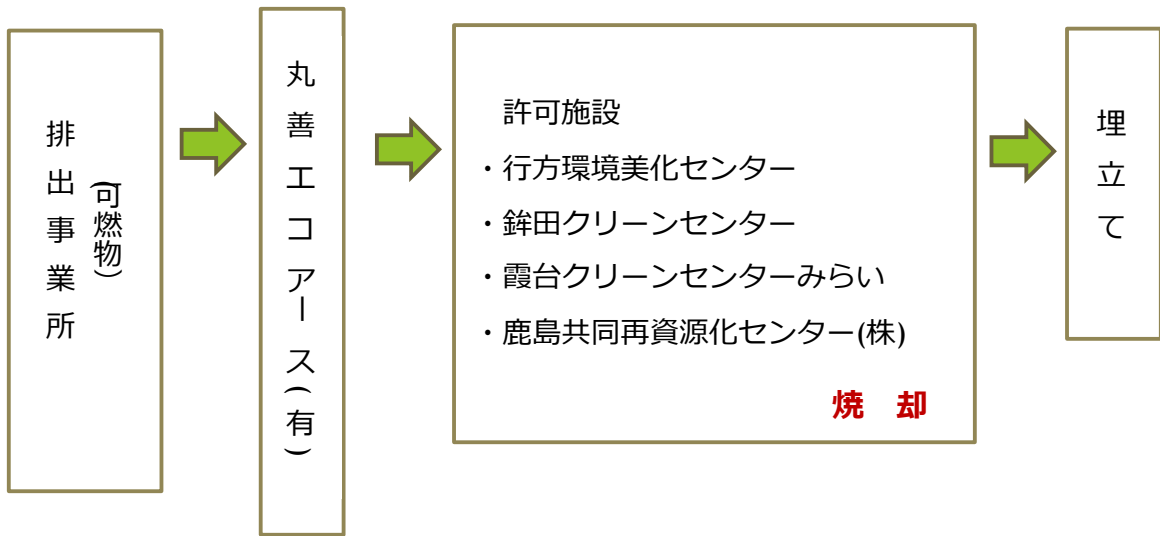
	2019年度	2020年度	2021年度
産業廃棄物	304	336	313
委託一般廃棄物	6,506	6,174	6,053
契約事業所一般廃棄物	1,246	1,203	1,409
リサイクル 再生利用	787	740	793



コンテナの種類

10m³ 8m³ 3.5m³ 2m³

4.一般廃棄物処理フロー



5.環境経営目標数値の実績と評価

活動期間 2021年3月～2022年2月	基準年度 2016年度 実績	2019年度			2020年度			2021年度		
		目標	実績	評価	目標	実績	評価	目標	実績	評価
			達成率			達成率				
電気使用量の削減(kwh)	7,520	7,219	6,940	○	7,144	7,642	×	7,069	7,587	△
[基準年度からの削減率]		4%削減	104%		5%削減	93%		6%削減	93%	
軽油使用量の削減(L)	72,451	69,553	72,010	×	68,829	75,557	×	68,104	79,621	×
[基準年度からの削減率]		4%削減	97%		5%削減	91%		6%削減	86%	
二酸化炭素排出量の削減(kg-CO ₂)	194,507	186,727	189,308	×	184,782	198,808	×	182,836	209,203	×
[基準年度からの削減率]		4%削減	99%		5%削減	93%		6%削減	87%	
水使用量の削減(m ³)	※2 110.16	74.65	71.34	○	73.87	91.37	×	103.55	94.24	○
[基準年度からの削減率]		4%削減	105%		5%削減	81%		6%削減	110%	
一般廃棄物の再生利用(t)	610	787		○	740		○	793		○
[基準実績に対する達成率]		129%			121%			130%		
燃費(車両)	※1 6.07				6.07			6.05		△
軽油1Lあたりの運搬量(t)	2021年度より							0.107		
自社の排出量 可燃物	8.2	3.9		○	1.9		○	1.3		○
会社周辺の清掃活動の実施	1回/月	1回/月		○	1回/月		○	1回/月		○

※1 燃費のみ基準年度実績を令和2年度とする。

※2 水の基準実績は車両平均使用量

1台/回=15分、1分=12L、

180L×3回/月=540L/月

540L/月×17=9180L/月 110.16m³

二酸化炭素排出換算係数 東京電力2018年度0.474(kg-CO₂/kwh)を使用。化学物質は使用していない。

6. 中長期目標

	項目	基準年度	2022年度	2023年度	2024年度
		2020年度	目標	目標	目標
1	電気使用量の削減 (kwh)	7,642	7,566	7,414	7,192
	[基準年度からの削減率]		1%削減	2%削減	3%削減
	軽油使用量の削減 (L)	75,557	74,801	73,305	71,106
	[基準年度からの削減率]		1%削減	2%削減	3%削減
	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	198,808	196,820	192,884	187,097
	[基準年度からの削減率]		1%削減	2%削減	3%削減
2	水使用量の削減 (m ³) ※1	110.16	103.5504	102.4488	101.3472
	[基準年度からの削減率]		1%削減	2%削減	3%削減
3	燃費(km/l) ※2	6.07	6.07	6.07	6.07
4	軽油1Lあたりの運搬量(t) ※3	0.10761	0.10761	0.10761	0.10761
5	一般廃棄物の再生利用排出量 (t)	740	740	740	740
6	自社の排出量 可燃物	1.9	1.9	1.9	1.9
7	会社周辺の清掃活動の実施	1回/月	1回/月	1回/月	1回/月

※1 水の基準実績は車両平均使用量 (令和3年度より変更)

1台/回=15分、1分=12L 180L/回

180L×3回/月=540L/月

540L/月×17=9,180L/月 9,180L/月×12ヶ月=110,160L/年 110.16m³

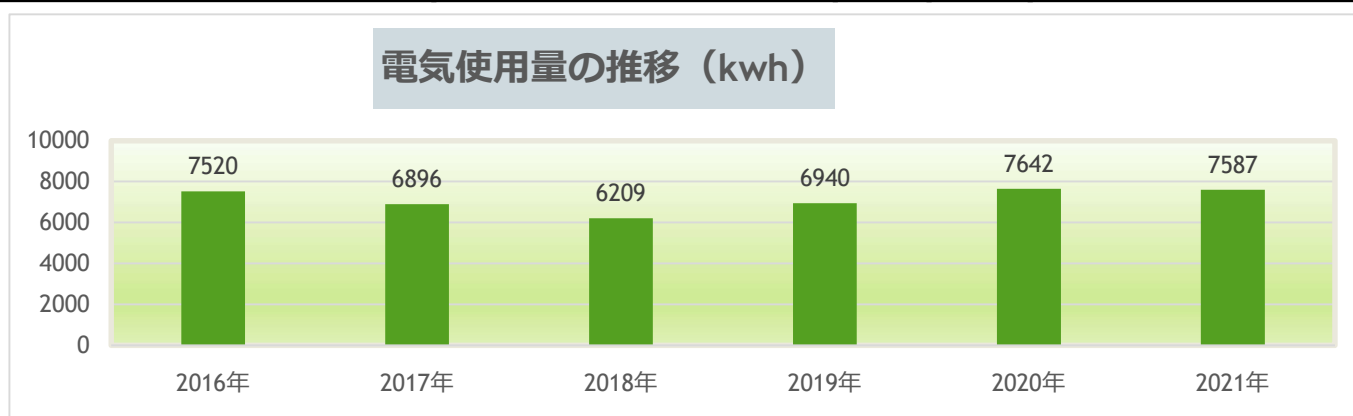
※2 削減する項目ではないので達成率のみ表示するので目標は基準の2020年度になっています。

※3 削減する項目ではないので達成率のみ表示するので目標は基準の2021年度(2021年度より把握)になっています。

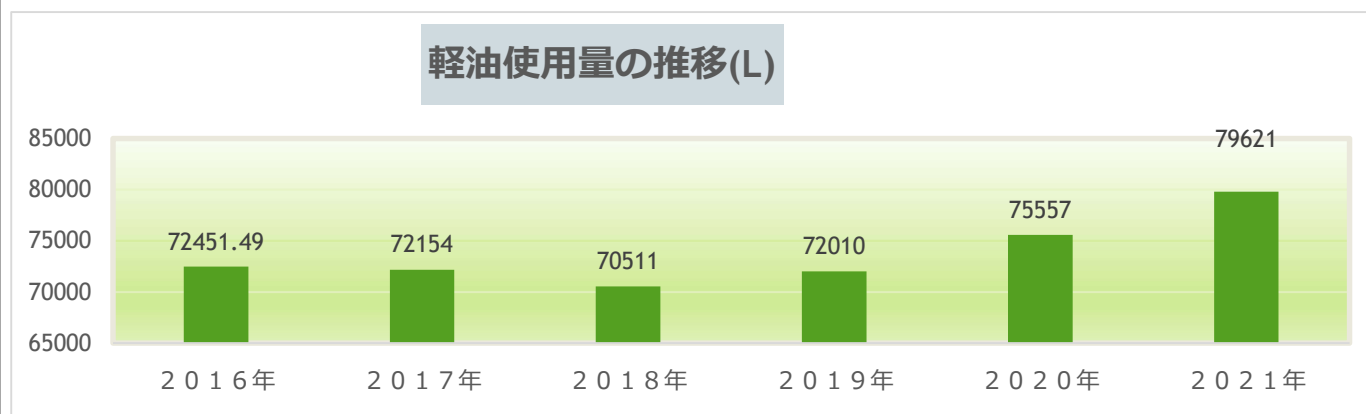
二酸化炭素排出換算係数は東京電力の平成30年 0.474 (kg-CO₂/kwh) を使用。化学物質は使用していない。

7.環境経営活動計画・実績・評価及び次年度の取り組み

環境活動	実績	担当者	評価	次年度の取り組み内容
101 電気使用量の削減(kwh)				
101① 未使用時の電気消灯の徹底	使用していない場所の消灯。	鈴木	○	不要な照明は消灯し、エアコンの設定温度を守り、引続き活動を継続していきたい。
101② 蛍光灯・照明器具の省エネ化 (現行蛍光灯の寿命時交換)	LEDなどの電球・蛍光灯に随時交換。 2年以内に完了予定。	鈴木	○	
101③エアコン設定温度徹底	夏季:28±1度/冬季:20±5度を 目安に温度調整した。	鈴木	△	

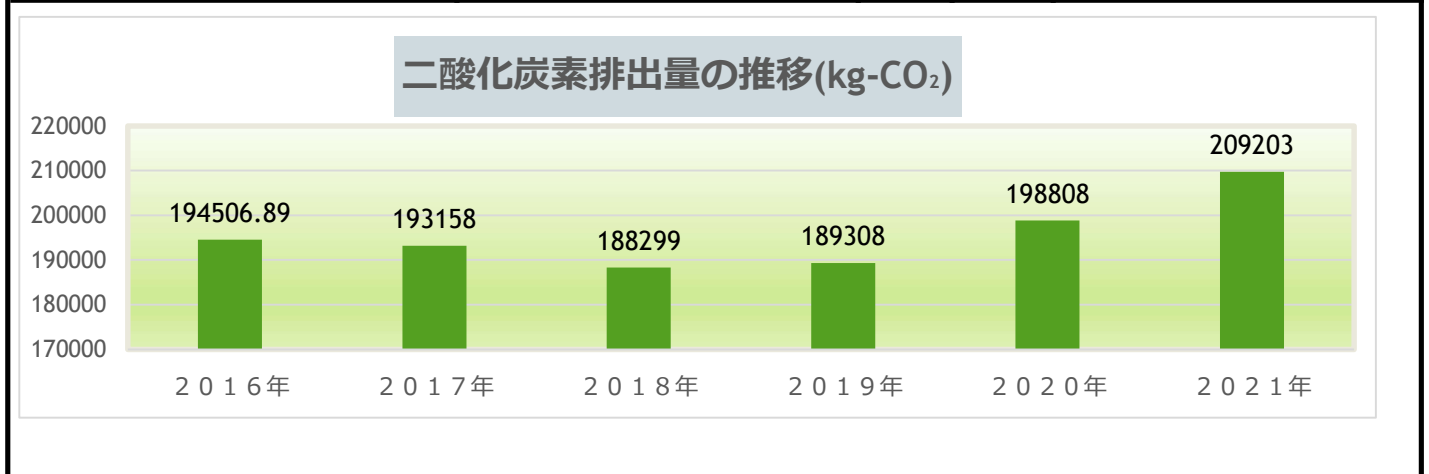


102 軽油使用量の削減(L)				
102① エコドライブの実施	アイドリングストップの徹底。	今泉裕	○	アイドリングストップ・急発進・急減速を禁止し、空気圧のチェック・点検、運搬経路の適正化、速度制限、過積載の遵守を引き続き取り組んでいきたい。
102② 日常点検、定期点検の実施	日常点検、定期点検の実施	今泉裕	○	
102③ 各車両の走行距離、使用燃料の管理	日々の記入で、各自の認識を高めた。	今泉裕	○	

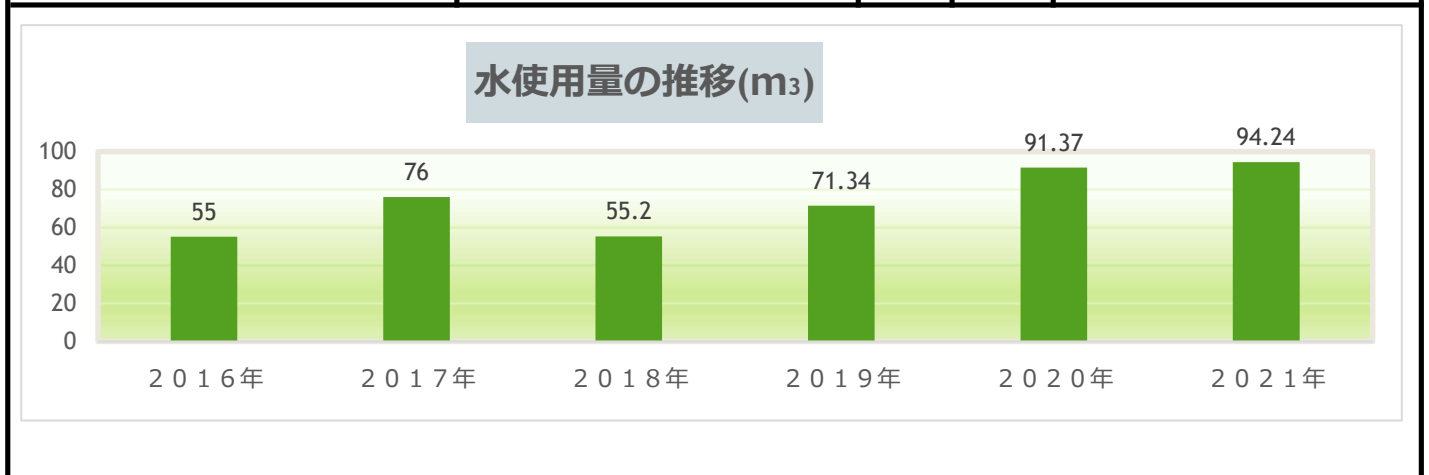


評価基準 実施状況100% ○ 90%以上△ 90%未満×

環境活動	実績	担当者	評価	次年度の 取り組み内容
103 二酸化炭素排出量の削減(kg-CO ₂)				
ガソリン・軽油・電気等の使用量削減	101①～102③に基づく。	今泉裕	×	101①～102③に基づく。

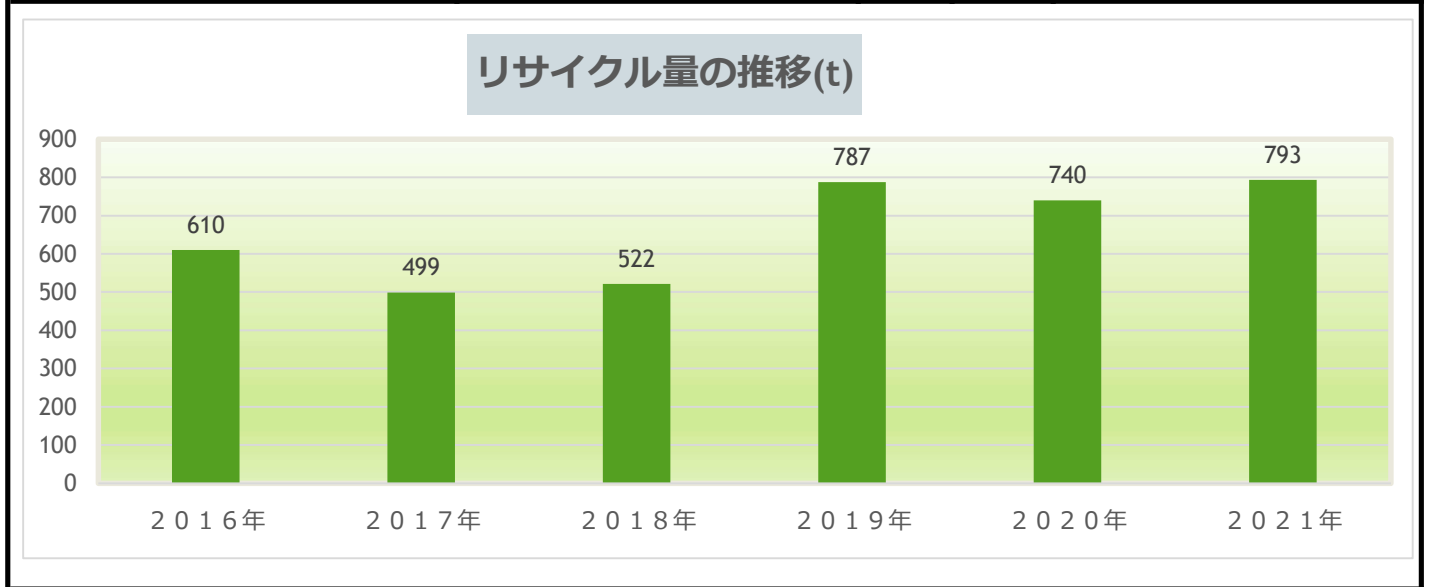


201 水使用量の削減(m ³)				
201① 節水	洗車時の流しっぱなしをしない。	小林	○	洗車時の流しっぱなしのないように今後も継続していきたい。
201② 節水	節水シールの表示	小林	○	
201③ 雨水の利用	雨水の有効利用	小林	○	

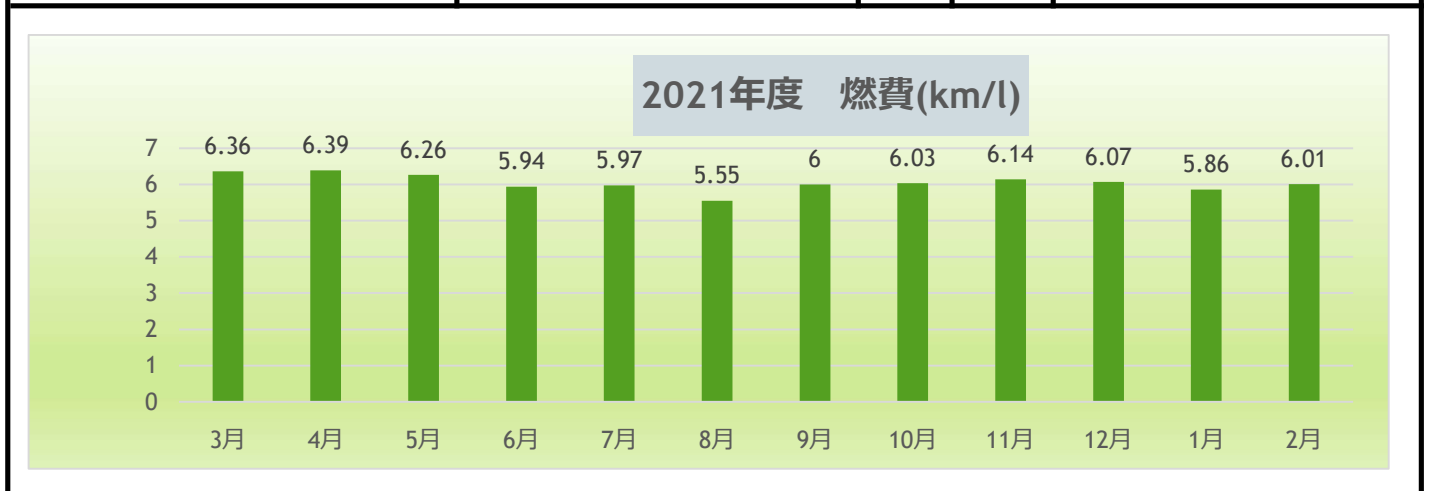


評価基準 実施状況100% ○ 90%以上△ 90%未満×

環境活動	実績	担当者	評価	次年度の 取り組み内容
301 一般廃棄物の再生利用排出量				
一般廃棄物の再生利用排出量の把握	分別をして再生利用に努める	今泉裕	○	今後もリサイクル出来るものは分別してリサイクルするように継続する。

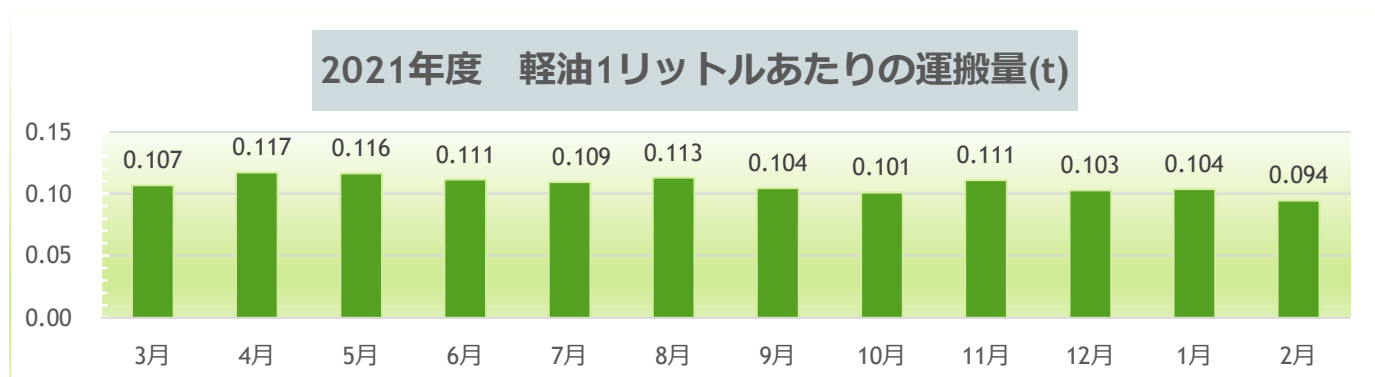


104 燃費(車両)				
燃費の月毎の平均値を把握する	2021年度より月毎の燃費の平均値が把握が出来た。また車両毎の平均値も把握できた。	今泉裕	△	今後も継続して燃費把握を行い燃費向上に向けた取り組みを徹底したい。



評価基準 実施状況100% ○ 90%以上△ 90%未満×

環境活動	実績	担当者	評価	次年度の 取り組み内容
105 軽油1Lあたりの運搬量				
軽油1Lあたりの運搬量を月毎に調べる	2021年度より月毎の軽油1Lあたりの運搬量を把握できた。	今泉裕	○	今後も継続していきたい。



評価基準 実施状況100% ○ 90%以上△ 90%未満×

8. 関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

環境関連法規制等の遵守状況の確認結果は、下記のように順守されていました。

また、違反・起訴等も過去3年間ありませんでした。

活動期間 2021年3月～2022年2月

	適用業務	法令等の名称	主な内容	確認結果
1	一般廃棄物[紙類]の 排出・収集運搬	廃棄物処理法 市条例	条例に基づく分別と排出	○
2	一般廃棄物[可燃物・ 不燃物・資源物]の排出・ 収集運搬	廃棄物処理法	契約書の締結・更新 収集実績の報告 許可証の更新	○
3	産業廃棄物の排出	廃棄物処理法	契約書の締結 マニフェストの管理 報告書の提出	-
4	産業廃棄物の収集運搬	廃棄物処理法	契約書の締結・更新 マニフェスト/電子マニフェストの管理 事業報告書の提出 許可証の更新	○
5	収集運搬業	貨物自動車運 送業輸送安全 規則	車両総重量が7トン以上又は最大積載量 が4トン以上の普通自動車である 事業用自動車のタコグラフ搭載 過積載の遵守	○

9.代表者による評価・見直し・指示

評価・見直し・指示

評価

燃料使用量について達成できた月はなかった。原因は受注量増加によるものと考えられる。

電気使用量については上半期はおおむね達成できたが、下半期は大幅に目標が未達となってしまった。リサイクル率も上がり処理機の電気使用量も上がった事が原因である。

水道使用量も大幅に上がってしまった。

見直し・指示

目標値の見直しが必要と考えられる。

燃料使用量については受注量が増えたので燃料使用量が増えるのは当然のことだが、各自努力が必要だと思う。出庫時のアイドリングストップ、車内休憩時のエンジン停止等、水の使用については最少限の洗車に努める。

2022年5月27日



代表取締役 今泉 善弥